

ロシア医療サービスの 現状と医療改革

元フジフィルムロシア社長
花田 修一

ロシアの首都の大病院

モスクワ市立第一病院の驚くべき光景

ロシアの諺＝大衆意識

「病気になったら地獄に落ちたも同然」

廊下に置かれたベッドに入院患者が寝かされている
空調設備がないので、風通しのよい廊下に寝かせる

地方の公的医療機関はさらにひどい状況

ロシアの医療機関の60%が老朽化

医療機器の68%が老朽化

強制医療保険

- 保険料の本人負担なし
- 就労者の保険料は雇用主が全額負担
- 給与の34%を社会保障費として国家ファンドに支払う
- うち5.1%(昨年までは3.1%)が強制医療保険料
- 非就労者の保険料は地方行政が全額負担
- 診療費も無料

入院用ベッド数や医師の数(2009年)

- 10,000人当たりのベッド数 約90床
- 10,000人当たりの医師数 約44人
- 医療看護師等数 約94人
- 救急メディカルサポートを受けた患者数 1,000人に対して約361人

WHO2010年世界平均寿命ランキング

ロシア68歳 193カ国中117位

医療制度改革の必要性

- 医療サービスの悪さ
- 国民の健康状態に対するネガティブな評価
- 国民の不満
- 医療システム全般への問題提起

公的医療機関の問題

- 95%以上が公的医療機関
- 財源：強制医療保険、地方行政機関予算、有償診療、寄付金
- 医療サービスの質や量の差異が地域や医療機関によって発生
- 有償診療
 - 給料等の労働条件が悪い
 - 医師が患者から診療費を求める
 - 行政が調査・摘発するも成果なし
- 無償診療と有償診療の境界の明確化：無償診療の範囲や有償診療の料金体系が医療機関によってばらばら

予防検診システム構築の課題

＜病気になって地獄に落ちる＞から

＜地獄＞に落ちる前に＜打てる手立ては最大に打つ＞へ

- 総合的な健康診断が行われるのは、大学入学時と徴兵検査時のみ
- 定期健康診断システム構築：小中学校、職場等における定期健康診断の制度化

ロシアの疾患・死亡率に関するデータ

	2008	2009
●死亡率／人口1000人 (生きて生まれてきた乳幼児／1000人)	14.6人	14.2人 (8.1人)
〈主要死因〉 循環器系疾患(心疾患、脳血管疾患) 56% ガン 15% 事故、アルコール中毒等外的要因 11% 病名:1位 心疾患 2位 脳卒中 3位 ガン		
●結核発病率／10万人	85.1人	82.6人
●慢性アルコール中毒症発生率／10万人	81.4人	76.9人
●麻薬依存症発生率／10万人	18.7人	17.8人
●ガン発病率／10万人	345.7人	355.9人
(2008年データ) 悪性腫瘍の主要部位 男性—1位. 気管、気管支、肺 2位. 胃 3位. 前立腺 女性—1位. 乳腺 2位. 子宮頸部及び体部、胎盤 3位. 胃		
●妊娠中絶(人数)	123万6,362人	116万1,690人

医療制度改革①

2010年11月に制定された強制医療保険に関する新しい法律

公的医療機関のみ適用されていた強制医療保険を2011年1月から民間医療機関にも適用

〈被保険者の権利の確保〉

1. 保険は患者の居住地のみならず全国どこでも共通して適用
2. 加入しようとする保険会社の自由な選択の権利
3. 診療を受けたい医師の選択の自由
4. 診療内容の全てに関する情報を医療関連機関より受ける権利
5. 個人情報保護に関する権利
6. 妥当な医療サポートが保険会社の義務不履行によって享受できなかった場合、その損害賠償を保険会社に対して要求できる権利
医療機関に対して賠償請求ができる権利

医療機関に対する管理強化

医療保険が定めた内容の枠内における無料医療サービスの提供義務づけ

残る課題

- 無償医療と有償医療の境界の明確化
- 医薬品の保険適用
- 医師の処方箋により薬局で自己負担で購入

医療制度改革②

メドヴェージェフ大統領2009年、2010年の年次教書の中で医療分野における近代化を最重要課題として取り上げる

- 薬学・医療技術の発展により国民の健康生活を実現
- 心疾患、脳血栓等循環器系疾患、ガン治療、カゼ、インフルエンザなどの治療薬の開発、自国生産
- 外国の医薬品会社との協力

医療制度改革③

ロシア連邦

- 2020年までの連邦プログラムの草案
- 医療産業近代化資金1,230億ルーブル(日本円換算約3,690億円)
- 医療薬品の研究、その技術開発の学術開発センター17か所を設立
- 医薬品の9割以上を国内生産化
- 医薬品の輸出量を現在の8倍まで引き上げる
- 2011-2012年予算計画
- 医療分野に約4,660億ルーブル(日本円換算1兆4,000億円)

医療制度改革④

1. 老朽化している病院・診療所の修理、改築 新たな病院施設建設
2. 医療設備、機器の入れ替え及び新規導入
3. 医療機関のIT導入
病院間の情報交換システムの導入をベースとした患者の診断、診療予約システム及び電子カルテの導入
4. 公的医療機関にて働く医師、看護師、職員の給料のベースアップ
5. 医療設備導入使用する医師、専門家の研修、訓練の実行
6. 乳幼児、子供向け医療(母子医療)の近代化、医療サービス体制の改革、入院病棟における付き添い母親向け設備の導入

医療制度改革⑤

モスクワ市

- 2011－2012年の予算措置
- 連邦予算480億ルーブル(日本円約1,440億円)
- モスクワ市予算650億ルーブル(日本円約1,950億円)
- 合計1,130億ルーブル(日本円約3,390億円)
- 用途:老朽化した医療機関の修理・改築780億ルーブル(日本円2,340億円)＝総額の80%

医療制度改革⑥

国内生産される医療機器の研究開発費の融資、入札時の優
遇措置、税制優遇

ロシア医療マーケット参入への課題

2008－2010年にロシアが外国から購入した医療機器 CT、血管造影用医療機器、マンモグラフィー、超音波診断機器等購入価格が国際価格より2～3倍も高い

ロシア医療ディーラーと医療行政の悪徳役人の不正な汚職関係

ロシアの医療マーケットは大きく魅力的、しかし問題だらけ！

外国からの投資を積極的に呼び込みながら、問題解決にあたっているロシア政府の医療政策を理解し、それにマッチしたビジネスに取り組むことが重要